



八雲

学校だより7月号

令和 7 年 6 月 30 日

目黒区立八雲小学校

学習の目標と、そのための手立て

副校長 坪田 寛

6月26日(木)に3年生の子どもたちと社会科見学で目黒区総合庁舎や五百羅漢寺、目黒不動尊に行ってきました。子どもたちは真剣にメモをとったり、意欲的に質問したりしながら、主体的に学習することができました。子どもたちにとっては楽しい学習活動となったことと思います。しかしながら、ただ楽しいだけではなく、この社会科見学には教師側の学習の目標を達成するためのたくさんの仕掛けと工夫がありました。その一つにバスのルートがあります。今回の社会科見学ではバスで移動しました。そのコースも目黒通りを出発し、環七で左折、駒沢通りで右折、目黒区役所へ、その後山手通りで右折、五百羅漢寺へ、と目黒区内の主要な幹線道路を通ります。バスの中の教師の声かけから、子どもたちは道路の様子や位置関係を学びました。ただ移動するだけではなく、社会科の学習の目標を達成するための、意図的な仕掛けや、子どもの気づきや興味を沸き立たせる工夫がありました。

学校教育の中では、全ての活動に目標があり、そのための手立てを講じています。体力テストの際に兄弟学年が一緒に活動するのには、記録場所を効率よく回るためだけではなく、異学年の交流や上学年としての態度を育成するという目標があります。運動会には、ただ競技を行うだけでなく、表現運動や陸上運動(短距離走等)などの体育学習の成果を発表するという目標があります。宿泊体験教室にも、自然とふれあうため、仲間と協力する、などの目標があり、その目標達成するための活動が仕組まれています。

子どもたちは、学校が仕掛けていく意図には気が付かずとも、楽しく学びを進めていく中で、自然と力が身に付いていくことが重要です。そのためにも、保護者や地域の方々に学校の活動を理解していただき、ご協力、ご支援をいただかなくてはなりません。今後も、ご家庭、地域への情報発信に力を入れてまいります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



八雲タイム

今年度、月に一回八雲タイムを実施しています。代表の6年生による元気のよい「姿勢」の号令で、全校で挨拶をして始まります。そして、集会委員会が計画した遊びや全校での合唱など月に応じたプログラムに全校で取り組みます。後は、異学年のたてわり班に分かれて、6年生を中心に遊びを通して交流する“ともあそび”で締めくくりです。異学年での交流にも慣れ、みんなの笑顔が溢れています。6年生のリーダーシップも発揮されて、とても有意義な時間になっています。

次回は、7月16日(水)に実施します。



登校時間について

登校時間は、8時5分から10分となっています。しかし、その時間よりも20分以上早い登校や門が閉まってから遅れての登校も見られます。暑さもだんだんと本格的になっている中、長時間校庭で待つことは熱中症の危険もあります。また、遅れてくることで朝の支度が間に合わず、次の活動に支障が出ることもあります。家を出る時刻について、今一度ご家庭でご確認ください。よろしくお願いいたします。

7月生活目標「物を大切にしよう」

自分の持ち物を大切に扱うことはもちろんのこと、公共の物を大切にすることも指導しています。また、「使ったものをきちんともとに戻す」ことは、八雲小学校の3つの約束の一つである“後始末”につながります。ご家庭と連携しながら、取り組んでいきたいと思っています。

日	曜日	7月の行事予定	最終下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火		5	6	6	6	6	6
2	水	4時間授業 ここカラダタイム 安全指導日	4	4	4	4	4	4
3	木		5	5	6	6	6	6
4	金		4 マわ	4 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ
5	土	【7日(月)】1日に配布した健康カード回収日						
6	日	【2日(水)】3くみ下校14:15						
7	月	クラブ④	5	5	5	クラブ	クラブ	クラブ
8	火	安全指導日	5	6	6	6	6	6
9	水	演劇鑑賞教室(6年)	5	5	5	5	5	16:15
10	木		5	5	6	6	6	6
11	金		4 マわ	4 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ
12	土							
13	日							
14	月		5	5	5	6	6	6
15	火	避難訓練	5	6	6	6	6	6
16	水	ハ雲タイム	5 ハ雲	5 ハ雲	5 ハ雲	5 ハ雲	5 ハ雲	5 ハ雲
17	木		5	5	6	6	6	6
18	金	大掃除 水泳指導終	13:25	13:25	14:05	14:05	14:05	14:05
19	土							
20	日		9月1日(月)ランドセルで登校 【持ち物】 筆記用具、連絡袋、上履き、夏休みの宿題、 防災頭巾、iPad、ハンカチ、ティッシュ、 白衣(給食当番の児童)					
21	月	夏期休業日開始 海の日						
22	火	個人面談①午前のみ(3~6年)						
23	水	個人面談②午後のみ(3~6年)						
24	木	個人面談③(3~6年)						
25	金	個人面談④(3~6年)						

日	曜日	9月の行事予定	最終下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	委員会⑥	5	5	5	6	委員会	委員会
2	火		5	6	6	6	6	6
3	水	小中連携②	5	5	5	5	5	5
4	木	発育測定6年	5	5	6	6	6	6
5	金	発育測定5年	4 マわ	4 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ	5 マわ

5	5時間授業【13:25】	委員会	委員会活動あり【15:10】
6	6時間授業【14:25】	5ハ雲	水曜日ハ雲タイムあり【14:30】
4マわ	金曜日4時間+わくドキタイム【13:45】	クラブ	クラブあり【15:30】
5マわ	金曜日5時間+わくドキタイム【14:45】	4	ここカラダタイム【13:00】

心の自立のきっかけ

5年 担任

「整える」「守る」「高め合う」、このキーワードは、5年生の学年目標です。そして、ハケ岳自然宿泊学習のめあては、「自立」でした。親から離れて集団で生活をするという経験は、自分で責任をもって行動ができる最高のチャンスです。出発前日に子どもたちから「5分前行動ができるか心配です。」「整理整頓が苦手です。」「みんなでハケ岳に行けるなんて、楽しみです。」などそれぞれが様々な思いを伝えてくれました。ハケ岳での経験は、子どもたちの心の自立のきっかけになる、とても貴重なものでした。集合時刻に班で集まったり、それぞれの役に責任をもって活動に取り組んだり、見通しをもつために自分でしおりを見たり、身の回りの整理整頓をしたりするなど一人一人がハケ岳での生活を通して成果と課題に気づき、学ぶことができました。学校に戻ってきてからの学習では、「5分前行動とは、5分前に到着することが大切だと分かりました。」「時間に遅れてしまうということは、人の時間を奪ってしまうことと同じだから気を付けたいです。」「自分のことを自分でやることで誰かに何かをしてもらうことのありがたさが分かったので、感謝を伝えていきたい。」などと振り返っていました。教員が教えるべきことを教えていくことも大切ですが、子どもが自分で考え、責任をもつこともとても大切だと気付かされる宿泊行事でした。ハケ岳で学んだ経験を生かして、学年目標の「整える」「守る」「高め合う」のキーワードを意識して生活できるように今後も指導していきたいと思います。



6年 興津自然宿泊体験教室

6年 担任

6年生は、6月11日～13日の間、2泊3日で千葉県勝浦市にある興津自然学園での宿泊行事を行いました。動物や海の生き物とのふれあい、磯や砂浜での活動を通して、自然環境について体験的に学ぶこと、集団生活を通して自律の意識や友達とのつながりを深めることを目的としています。「自分から考動」「思いやり」「整える」の3つの学年目標と関連させてめあてを決めて、3日間を過ごしてきました。

初日は雨のため、子どもたちが楽しみにしていたキャンプファイヤーを外で行うことができませんでした。事前打ち合わせでレク係にそのことを伝えたと、レク係が気持ちを落としたのは一瞬でした。「室内でもどうやったら楽しめるか」とすぐに切りかえて、司会の言葉を変更したり、体育館の使い方を相談したり、準備に取りかかったのです。「室内だと完全に真っ暗になるから、みんなを驚かせたい!」「室内の方が涼しくて思いきり踊れるよ!」など、雨だからこそできる楽しみ方を工夫して、実践していきました。結果は、大盛り上がりの大成功!!「外がよかった」という苦情は一言もありませんでした。切りかえて準備したレク係はもちろん、係の友達の呼びかけに気持ちよく協力した全員の力で、雨にも負けず、自分たちの力で楽しい思い出に創り上げることができました。「考動」と「思いやり」を感じた瞬間でした。

時刻を守ること、他の人のことを考えてスリッパや浴室を整えること、といった「整える」意識も、3日間で成長しました。3日目の閉園式では、予定の5分前にどの班も集合し、落ち着いた気持ちで、お世話になった学園の方やインストラクターの方に感謝の思いを伝えることができました。八雲小に着いてからも、バスガイドさんや運転手さんへのお礼、帰校式での話を聴く態度など、気持ちを「整えて」、相手に向かう姿に成長を感じました。

小学校生活最後の宿泊行事を、自分もみんなも楽しいものにできたのは、一人一人が「考動」「思いやり」「整える」を心がけたからです。3日間の成長を3日間だけのものにせず、日ごろの生活に生かしていけるように、見守り、励ましていきます。

